



GEKKAN ORIMOTO

## 月刊 織本

4

2013年4月1日 Vol.224

発行 医療法人財団 織本病院

印刷 〒204-0002

東京都清瀬市旭が丘 1-261

TEL 042-491-2121

URL <http://www.orimoto.or.jp/>

発行人 高木 由利



## ロコモティブシンドローム

理事長・院長 高木 由利



今年は急に桜が咲きました。病院の東側の窓から、お隣の清瀬第三中学校の桜並木が見えます。窓枠が額縁、そしてそこに満開の桜。何と美しい光景でしょうか。

\* \* \*

先日、第3回 腎リハビリテーション学会に行ってきました。その目的は、常日頃から私の目が腎疾患の方々の食事管理にしか向いていないことが気になっていたからです。

人は全て口から入る食物によって生かされているのですから、まして病気、特に体の恒常性を保つ腎臓が壊れたら自分の体に最適な食事をするのは当然のことなのです。しかし、これだけでいいのだろうかと考えていた時に、この腎リハビリテーション学会の存在を知りました。正しい食事療法をし、且つ正しい運動療法をすることが腎不全の様な慢性疾患には必須のことだと私は考えています。腎臓は骨の状態を調節するホルモンを分泌しています。従って、腎不全になればこのホルモンの分泌が低下するために骨は弱くなっていくのです。骨粗鬆を始め、脊椎や関節の変形をきたす腎不全患者さんが多いのはそのためです。

今回の学会で私はロコモティブシンドローム（運動

器症候群）という概念を初めて知りました。ロコモティブシンドローム(以下ロコモ)は、運動器の機能障害により生活活動に制限(介護が必要な状態)が生じたり、そのような状態になるリスクが高いことの総称と言われています。しかもこのロコモは、腎不全だけでなく世界中の人々の50歳以降に急増しているというのです。これは大変なことが起きていると思いました。

現在の社会での生活そのものが何か狂ってしまって、今まで言われてこなかった病態が次々と露出してきたと感じます。きっと昭和の初期にもロコモの方はいらしたと思いますが、その数が少ないため見過ごされていたのかもしれませんが。

今までは電車に乗ったり歩いたりしながら、仕事をしたりお買い物をしたりしていたのが、パソコンの普及により、より便利に且つ効率が良くなったことも大きな要因と考えます。このロコモティブシンドロームは、メタボリックシンドロームと並ぶ現代社会が生み出した疾患群2大巨頭なのかもしれません。

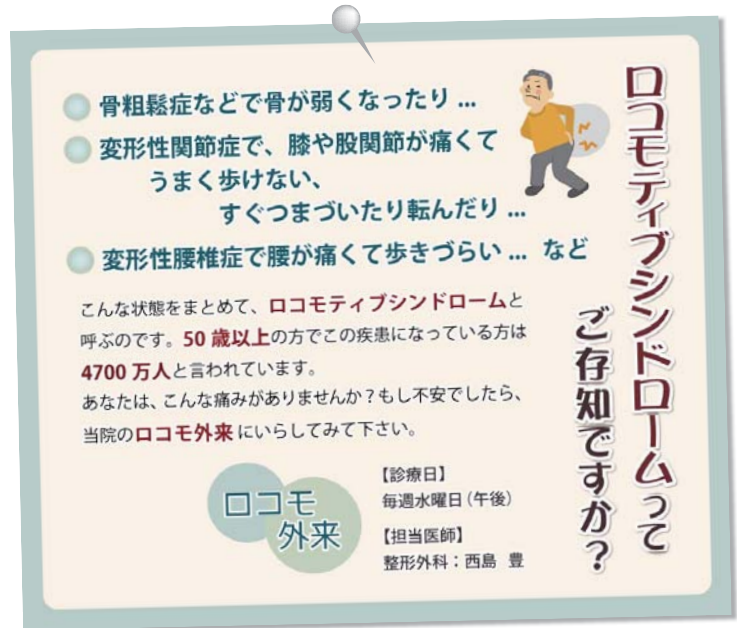
・・・私は少し恐怖感を覚えました・・・“ロコモ”、“メタボ”、どちらの名前もちょっと滑稽な響きを持っているために、それがどんなに不幸な事態を招くか連想

し難いからです。

そこで、当院の整形外科、理学療法科、栄養科と相談し、4月から毎週水曜日の午後“ロコモ外来”をオープンしました。ロコモ25というチェック表に記入して頂いてから整形外科医の診察を受け、痛いとか辛い膝や腰のレントゲンを撮って、その方に必要なリハビリをして頂くのです。次に必要がある時は血液検査を行い、内科医の介入後、管理栄養士による食事療法の指導が入ります。

ロコモティブシンドロームは私達の将来を左右する生活習慣病だと思います。

是非、ロコモ外来にいらして下さい。



こんな状態をまとめて、**ロコモティブシンドローム**と呼ぶのです。**50歳以上**の方でこの疾患になっている方は**4700万人**と言われてます。  
あなたは、こんな痛みがありませんか?もし不安でしたら、当院の**ロコモ外来**にいらして下さい。

【診療日】  
毎週水曜日(午後)  
【担当医師】  
整形外科:西島 豊

ロコモ  
外来

ロコモティブシンドロームって  
ご存知ですか?

## ひな祭りコンサートの“響き”

ケアセンター看護師 主任 松本 恵



3月2日(土)、当院のケアセンターでは、高木由利理事長をはじめとする織本病院混声合唱団による『ひな祭りコンサート』が開催されました。

ケアセンターとは重度意識障害のある方で長期臥床を必要とする患者様が入院されている病棟です。患者様は自力での体動や意思表示が困難で、私たちはほんの少しの表情の変化や身体の異常を注意深く観察し、読み取り、日々看護をしています。患者様の入院期間も1年から20年と様々ですが、平均して皆様10年以上になり、ご面会に来られるご家族・ご友人とも関りは深く、“家族”のような関係に近くあります。

ひな祭りコンサートは、3階と2階の各階のケアセンターで開催されました。病棟にはご家族やケアセンター以外の患者様や関係者の方など多くの方々がコンサートを聴きに訪れました。ピアノが準備され合唱団の方々が入場すると、女性はお揃いのワイン色のロングドレス、男性はブラックの上下を着用され、ご家族が「本格的ですね。素敵。」と拍手をされていました。クロイツァー涼子先生の指揮で歌が始まり、病棟全体に生ピアノ・生声が響き亘りました。

コンサート中の患者様の表情を見てみると、穏やかで声がする合唱団の方向に顔を向けていたり、微笑んでいる患者様もいました。また、クロイツァー涼子先生が患者様の近くで歌うと患者様は唇をパクパクと動かし、由利理事長がベッドサイドで歌った患者様は全身に力を入れ、表情もギュッと強く変えたのです。普段、病棟ではラジオや音楽CDを流していますが、その時には決して出さない反応でした。患者様は合唱団の歌声・ピアノの音・クロイツァー涼子先生の思いなど、色々なエネルギーを全身で感





じ吸収しているように感じました。

そして、コンサートを聴いていた職員も、男声合唱の重厚感と女性の透き通る歌声の素晴らしさに感動し、更に患者様たちの反応に感動し、涙を流してしまいました。患者様・ご家族だけでなく、職員まで癒されるコンサートとなったのです。

その後もご面会に来られたご家族に患者様のコンサート時の反応を伝え、「笑ったの!? 嬉しい!!」と、笑顔の出来事をお知らせする事ができました。

今回のコンサートの患者様の反応をみて、私たち職員は本当に嬉しい気持ちになり、患者様から私たちも癒されているという事を強く感じました。今後も患者様の気持ち、ご家族の考えや思いを「響き合わせる」ことができる看護をしていこうと再認識できたひな祭りコンサートでした。



### 2013年4月1日 ようちゃん永眠 (享年9歳)

ようちゃんは、昨年より患っていた骨腫瘍による闘病生活を送っていましたが、先日安らかに息を引き取りました。今まで皆さまからたくさんの愛情を頂き、ようちゃんは本当に幸せでした。ありがとうございました。



地元の方々にも  
かわいがってもらいました♪

イベントの時は、ちょっとおめかして、お客様をお出迎え!(^^)



織本病院に来たばかり  
のようちゃんは、まさ  
にぬいぐるみ!!



キッズルームの  
お友達とも  
たくさん遊び  
ました!!



お誕生日には、毎年  
ケーキのプレゼント♪  
患者さんからもたくさん  
プレゼント頂きました♪



とにかくお散歩が  
大好き!!

毎年、お花見にも  
行きました(\*。^\*)





# 形成外科外来のご案内

3月より新たに形成外科がスタートしました!! 形成外科は、特殊な材料、技術を用いて傷を目立たなくする縫合法や、顕微鏡を使用した組織移植などの手術を特徴とする外科です。

具体的には主に以下に記してある疾患に対し治療を行っています。

1. 皮膚の良性及び悪性腫瘍  
(あざ、ほくろ、その他)
2. 鼻、頬など顔面の打撲、骨折
3. やけど及びその後遺症
4. 手術、ケガの創痕など傷跡の治療
5. 切り傷、擦り傷などの外傷
6. 体表に関連した先天異常
7. 褥瘡及び皮膚の潰瘍  
じよくそう
8. 指切断を含む手足の外傷
9. 下肢静脈瘤
10. 巻き爪、かんにゆうそう 嵌入爪
11. 陥没乳頭
12. 眼瞼下垂 等

## 【症例写真】



巻き爪      下肢静脈瘤      皮膚悪性腫瘍

## 【担当医師】

**山本 改** (やまもとあらた)

◎ 日本形成外科学会 専門医

## 【外来診察日】

毎週水曜日 (午前・午後)

※ 予約可

## 【ご予約・お問合せ】

☎ 042-491-2121



## 第143回 腎疾患ゼミナール

『謙虚な気持ちで腎不全と向き合おう③』

～蓄尿の意義～

腎臓内科：高木由利

栄養科からのフンポイントアドバイス

『でんぶん米を使って』

『鶏そぼろちらしずしを作ろう!!』

管理栄養士：増田 彩



2013年4月18日 (木)

午後1:00～2:00

オリモトホール (織本病院 4F)

参加費無料

レシピ  
試食付き



## 4月の糖尿病教室

第25回 4月2日 (火)

「糖尿病をもっと知ろう!! 糖尿病とは...」

講師：医師・看護師・薬剤師

第26回 4月16日 (火)

「糖尿病をもっと知ろう!! 糖尿病と合併症」

講師：医師・管理栄養士・理学療法士・臨床検査技師

会場：第1会議室 (織本病院 4F)

時間：午後1:00～2:00 (開場 12:45)

参加費：無料

予約：不要 (直接会場へお越しください)